社会福祉法人　福島県社会福祉協議会
避難者生活支援・相談センター
TEL.024-522-6543　FAX.024-522-6546
HP http://pref-f-svc.org
避難者生活支援・相談センター 検索

ふくしま
生活支援相談員
サロン活動事例集

～避難者の居場所づくり・集う場づくり・地域住民との交流～

社会福祉法人　福島県社会福祉協議会
避難者生活支援・相談センター

はじめに

東日本大震災やその後に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故により、避難を余儀なくされた被災者の方々の生活も9年経過したなか、避難指示区域が段階的に解除され、復興・災害公営住宅の整備等が進み、被災者の生活基盤は、応急仮設住宅や借上げ住宅から復興・災害公営住宅や避難先の再建住宅に移ったり、更には帰還した故郷に移る等、被災者の自立再建に向けての動きが加速しているところです。

そのようななか、被災者・避難者の方々が抱える課題も複雑、多様化してきております。

避難先に整備された復興・災害公営住宅に転居した被災者の間では、新たな生活環境になじめず孤立化や引きこもり生活等に陥っている状況がみられたり、一方、故郷に帰還された被災者の間では、若い世代が少なく、一人暮らしや高齢者のみの世帯が多い上に、コミュニティ機能が低下している等のことから、引きこもり、会話や運動機会の減少に伴う認知機能や体力の低下等も懸念されているところであります。

そのため、各市町村社協では、配置する生活支援相談員による見守り・相談活動はもとより、被災者・避難者の孤立防止を念頭におきつつ、健康的にそして生きがいを持って、引き続き避難生活等が送れるよう、様々なサロン活動を展開しているところであります。

今回作成した事例集は、各市町村社協において、それぞれに創意と工夫を凝らして実施しているサロン活動の概要を紹介しようとするものですので、今後のサロン活動の充実と活性化に向けて、参考にしていただければ幸いです。

令和２年３月

社会福祉法人福島県社会福祉協議会
避難者生活支援・相談センター

目次

避難先で避難者同士をつなぐサロン

事例1 福島市社会福祉協議会 ホッとサロン「てとて」 P.6-7
事例2 二本松市社会福祉協議会 こっ茶こっせ P.8-9
事例3 郡山市社会福祉協議会 コミュニティサロンRococo ～ろここ～ P.10-11
事例4 三春町社会福祉協議会 カラオケサロン P.12-13
事例5 白河市社会福祉協議会 しらかわ社協サロン P.14-15
事例6 南相馬市社会福祉協議会 ゆいゆい広場 P.16-17
事例7 南相馬市社会福祉協議会 上町団地deお茶会　笑顔になっ茶おう! P.18
事例8 南相馬市社会福祉協議会 にじいろ交流会 P.19
事例9 南相馬市社会福祉協議会 男のつどい P.20-21
事例10 富岡町社会福祉協議会（いわき地区） ちょこっとカフェ P.22-23
事例11 富岡町社会福祉協議会（郡山地区） 出前カフェ　はま風 P.24-25
事例12 大熊町社会福祉協議会（相双地区） つながっぺ南相馬サロン P.26-27
事例13 大熊町社会福祉協議会（郡山地区） なかどおりサロンin希望ヶ丘 P.28-29
事例14 双葉町社会福祉協議会（いわき地区） 社協サロン（愛称：ひだまりサロン） P.30-31
事例15 双葉町社会福祉協議会（郡山地区） 健康運動教室 P.32-33
事例16 双葉町社会福祉協議会（南相馬地区） 南相馬ひだまりサロン P.34-35
事例17 葛尾村社会福祉協議会 茶話会 P.36-37
事例18 新地町社会福祉協議会 行茶（ぎょうちゃ） P.38-39
事例19 飯舘村社会福祉協議会 お茶のみ会 P.40-41
事例20 いわき市社会福祉協議会 健康体操&お茶会 P.42-43

ふるさとに帰還した住民同士をつなぐサロン

事例1 川俣町社会福祉協議会 田代地区サロン　すずらん P.46-47
事例2 広野町社会福祉協議会 ふるさとサロンひろの P.48-49
事例3 楢葉町社会福祉協議会 地域交流サロン　ふらっと P.50-51
事例4 富岡町社会福祉協議会（富岡地区） ゆうゆう倶楽部 P.52-53
事例5 川内村社会福祉協議会 ふれあい・いきいきサロン P.54-55
事例6 浪江町社会福祉協議会（浪江地区） 浪江いきいき交流会 P.56-57

避難者と避難先の地域住民をつなぐサロン

事例1 本宮市社会福祉協議会 ふれあいバス遠足 P.60-61
事例2 大玉村社会福祉協議会 おおたま社協　サロン P.62-63

各サロンの開催地をご紹介します

地域から
サロンを探す

福島市
- ホッとサロン「てとて」 P.6-7
- 社協サロン(愛称：ひだまりサロン) P.30-31
- お茶のみ会 P.40-41

大玉村
- おおたま社協　サロン P.62-63

本宮市
- ふれあいバス遠足 P.60-61

郡山市
- コミュニティサロン Rococo ～ろここ～ P.10-11
- 出前カフェ　はま風 P.24-25
- なかどおりサロンin希望ヶ丘 P.28-29
- 社協サロン(愛称：ひだまりサロン) P.30-31
- 健康運動教室 P.32-33

三春町
- カラオケサロン P.12-13
- 茶話会 P.36-37

白河市
- しらかわ社協サロン P.14-15
- 社協サロン(愛称：ひだまりサロン) P.30-31

新地町
- 行茶(ぎょうちゃ) P.38-39

二本松市
- こっ茶こっせ P.8-9

いわき市
- ちょこっとカフェ P.22-23
- 社協サロン(愛称：ひだまりサロン) P.30-31
- 健康体操&お茶会 P.42-43

南相馬市
- ゆいゆい広場 P.16-17
- 上町団地deお茶会 笑顔になっ茶おう! P.18
- にじいろ交流会 P.19
- 男のつどい P.20-21
- つながっぺ南相馬サロン P.26-27
- 社協サロン(愛称：ひだまりサロン) P.30-31
- 南相馬ひだまりサロン P.34-35
- お茶のみ会 P.40-41

川俣町
- 田代地区サロン　すずらん P.46-47
- お茶のみ会 P.40-41

浪江町
- 浪江いきいき交流会 P.56-57

富岡町
- ゆうゆう倶楽部 P.52-53

楢葉町
- 地域交流サロン　ふらっと P.50-51

広野町
- ふるさとサロンひろの P.48-49

川内村
- ふれあい・いきいきサロン P.54-55

ここでは

避難先で
避難者同士を
つなぐ

ふるさとに帰還した
住民同士を
つなぐ

避難者と
避難先の地域住民を
つなぐ

と3つに分けてサロン活動の事例をご紹介しています。

避難者の方の境遇はそれぞれですが
どのサロンでも共通しているのは「つなぐ」ということ。
この「つながり」から
たくさんの笑顔が生まれます。

避難先で
避難者同士を
つなぐサロン

サロン活動
事例集

事例１ 福島市社会福祉協議会

ホッとサロン「てとて」

目的

- つなぐ・つなげる・つながる
- 生きがいづくり・孤立防止
- 避難先地域での交流

サロンの概況

主な活動内容
- ものづくり
- 音楽療法

参加対象者
東日本大震災によって
避難されている方

開催日時・頻度
毎月第４水曜日
９：30～11：30

参加費
- 基本的には無料
- 活動によっては　～500円程度

開催場所
福島市保健福祉センター

周知方法
- 避難元社協の広報誌
- 訪問時の声がけ
- サロン活動の際に次回の案内をする

運営協力者
- 避難元社協　生活支援相談員
- ふくしま心のケアセンター
- 曹洞宗東日本大震災災害対策本部復興支援室分室
- 味の素ファンデーション
- 音楽の力による復興支援センター・東北

その他
- 企画ツアー
- 男の料理教室（年に４回）

ある日のサロン ～みんなで作ろう♪変わり種おやき～

どの具材を包もうか、どんな形にしようかなど、参加者同士で相談し合いながら調理しました♪“てとて”の活動から、サロン外でのお付き合いに発展している方も多くいらっしゃいます。

サロン全体の流れ

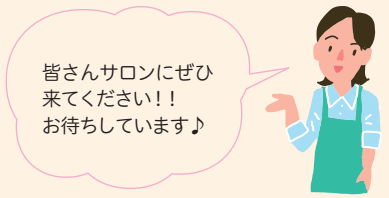
8：30 準備
〜
9：00 関係機関集合
心のケアセンターによるバイタルチェック（希望者）
〜
9：30 サロン開会
調理開始

11：00 調理終了
〜
11：10 集合写真撮影
〜
11：15 会食
〜
11：30 サロン終了
スタッフミーティング

ポイント（工夫・注目点）

- 笑顔で対応します。
- 参加者のケガに気を付けます。

常に心がけていること
- みんなが楽しく笑って帰れるサロン。
- また行きたいサロン。
- 高齢者でも楽しめて、自分たちも楽しめるサロン。



事例２ 二本松市社会福祉協議会

こっ茶こっせ

目的

- 避難者同士のコミュニティ形成や居場所づくり
- 趣味ややりがいにつなげる機会

サロンの概況

主な活動内容
- 季節のイベント
- レクリエーション

参加対象者
- 二本松市内に自宅再建された方、借上げ住宅にお住まいの方
- その他地区にお住まいの方もOK

開催日時・頻度
13：30～15：30（２時間程度）
２ヵ月に１回程度（年６回開催）

参加費
有
内容による（100円～200円程度）

開催場所
二本松福祉センター

周知方法
- 訪問時に次回開催の案内をする
- 他地区の方には参加時に次回開催チラシを配布

運営協力者
- 浪江町社協生活支援相談員
- 双葉町社協生活支援相談員
- 二本松市に登録のあるボランティア団体
- 二本松市民生委員

その他
- 毎回サロンの最後には全員で集合写真を撮り、次回のサロンで1人ひとりに配布
- 二本松市民生委員にも参加依頼し、積極的な交流を図っている

ある日のサロン ～懐かしい曲と共に体を動かしましょう～

初めてのスポーツ民踊を楽しみました！その後の茶話会では参加者の方から民話の披露があり、皆さんしっかりと耳を傾けていました！

サロン全体の流れ

13：30 集合・本日の活動紹介 講師紹介
〜
13：35 民踊鑑賞
〜
14：10 スポーツ民踊
〜
15：00 茶話会 民話披露
〜
15：30 終了 スタッフミーティング

ポイント（工夫・注目点）
- 二本松をより知ってもらうため、地元の銘菓を茶話会の時に出しています。
- 日頃から社協へボランティア協力を得ている団体に参加協力を依頼し、二本松市民と避難者との関わりが持てるようにしています。

常に心がけていること
- 和気あいあいとした雰囲気で、仲良く楽しく参加できるよう努めています。

事例３ 郡山市社会福祉協議会

コミュニティサロンRococo ～ろここ～

目的

- 郡山市近郊に避難している、同じ市町村民同士の交流の場
- 充実した日常生活を送るために、趣味や生きがいにつなげる

サロンの概況

主な活動内容

- 園芸寄せ植え
- テラリウムづくり
- 和菓子づくり
- 「お出かけサロン」で市内の企業見学　など

参加対象者

郡山市近郊に避難されている方ならどなたでも

参加者の年齢層

40代～80代

開催日時

毎月第１水曜日
13：30～15：30
※「お出かけサロン」の時は早く始まります

参加費

材料費として無料～1,000円
※内容により異なります

開催場所

郡山市総合福祉センター

周知方法

- サロン開催時に次回のサロン開催を周知
- 生活支援相談員が訪問時に声がけ
  （復興公営住宅　チラシ投函
  自宅再建・借上住宅　訪問時チラシ配布）

周知範囲

郡山市内

運営協力者

郡山市内に店舗を構える職人や地域の生涯学習の場で活躍している講師

その他

- 芸能発表会／手芸作品の展示やダンスサークルの演技を披露など日頃の成果を発表
- ふれあい事業／避難者と地域住民の交流会

ある日のサロン ～寄せ植え教室～

郡山市内の生花店から講師の先生をお呼びし、寄せ植えを行いました！毎回人気のサロンです!!

1日のサロン活動の流れ

12：30　準備
　　スタッフミーティング
13：00　講師と打ち合わせ
13：10　受付

13：30　開会・説明
14：10　寄せ植え
　　写真撮影
　　茶話会
15：25　次回の案内
　　今後の予定配布

ポイント（工夫・注目点）

- 土いじりが「懐かしい」と喜ばれるので寄せ植えを定期的に行っています。
- 飽きの来ないよう新しい企画を取り入れるようにしています。

常に心がけていること

- 参加者の活動の幅が広がるよう、さまざまなジャンルの企画をしています。
- 地域とつながる機会をつくるため、郡山市内で活動している方に講師を依頼しています。

サロンの今後について

- 今後も新しいことにチャレンジしてもらえるよう楽しいサロンをつくります。
- どなたでも気軽に参加できるサロンをつくっていきたいです。

事例４ 三春町社会福祉協議会

カラオケサロン

目的

- 三春町に避難されている方と三春町民との交流
- 三春町に避難されている方同士の交流

サロンの概況

主な活動内容
- カラオケ
- 自由におしゃべり

参加対象者
- 三春町にある復興公営住宅入居者
- 三春町に住宅を再建した方
- 三春町民

参加者の年齢層
60代～70代（３分の１が男性）

開催日時・頻度
木曜日（不定期）
13：00～15：00
月２回

参加費
無料

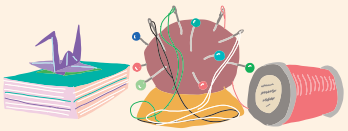
開催場所
三春町　平沢復興公営団地内
富岡町サポートセンター平沢

周知方法
- サポートセンターにチラシ設置
- 地域活動をしている三春町民などに知らせている

※長く実施しているのでサロンが定着している

周知範囲
三春町内

その他
サポートセンターでは、手芸サロンと折り紙サロンも実施している



ある日のサロン ～歌いながらワイワイと♪～

皆勤賞での参加も多いカラオケサロン♪
それぞれ自慢の歌声を披露しながら楽しんでいます！

1日のサロン活動の流れ

13：00 開始の挨拶

カラオケタイム♪
おしゃべりを
楽しんでもらう

15：00 終了

ポイント（工夫・注目点）
- 参加者は自由に過ごすことができます。
- 参加者同士で曲を入力し合ったり、会話が増えることで自然に打ち解けています。
- 復興公営住宅から徒歩で来ることができます。

常に心がけていること
- 三春町民も気軽に参加できるよう声をかけています。
- 生活支援相談員は仕切らず、参加者同士の交流を見守っています。

サロンの今後について
出身がどの町や村であっても、関係なく参加できるサロンにしたいです。

事例５ 白河市社会福祉協議会

しらかわ社協サロン

目的

白河市及び近郊で避難生活をされている住民の方に、市町村枠を超えて交流できる場を提供し親睦を深める

サロンの概況

主な活動内容
- 健康体操
- ゲーム
- 住民のニーズを拾いながら地域にゆかりのある方を招いてのコンサート　など

参加対象者
東日本大震災により白河市及び近郊で避難生活をされている方で、白河市社会福祉協議会と双葉町社会福祉協議会が支援している方

参加者の年齢層
50代～80代の方

開催頻度
年に２回程度

開催場所
白河市中央老人福祉センター

参加費
昼食代として１人500円

周知方法
- チラシを訪問先に郵送
- 復興公営住宅にはポスティング
- 双葉町の方には、広報誌にチラシを折り込む

周知範囲
白河市と西白河郡

運営協力者
- 双葉町社協生活支援相談員
- 県南保健福祉事務所 保健師

ある日のサロン

大爆笑の自己紹介から始まり、100歳体操で体をほぐした後は輪投げゲームで大盛り上がり!! おいしいお昼の後には、口笛コンサートでゆったりした時間を過ごしました。

1日のサロン活動の流れ

9：30 スタッフ集合 打ち合わせ・会場準備
10：00 受付
10：30 開会 自己紹介
10：50 100歳体操
11：00 レクリエーション 輪投げ
11：40 昼食・茶話会
13：00 口笛コンサート
14：00 閉会 会場片づけ 振り返りミーティング

ポイント（工夫・注目点）
- 同じ町どうしでとなり合わないように班編成をし、参加者の交流が促進されるようにしました。
- 参加住民一人ひとりに自己紹介をしてもらうことにより、初顔合わせの方でも「同じ地区だね、家が近いね！」など直ぐに距離が縮まっていました。

常に心がけていること
- 住民の力を活かした住民主体のサロン開催になるよう支援しています。
- 参加者の笑顔が多く見られ、「いっぱい笑った」「楽しかった」の声がたくさん聞けるようなサロン運営をしています。

サロンの今後について
このサロンでの交流をきっかけに、挨拶を自然と交わせたり、数人でもお茶飲み友達として集まれたりするような交流につながっていって欲しいです。

事例６ 南相馬市社会福祉協議会

ゆいゆい広場

目的

- 被災者同士の交流と地域住民との交流
- 高齢化に伴う介護予防
- 集う場の提供
- 生きがいづくり
- 社会参加

サロンの概況

主な活動内容
- 血圧測定
- レクリエーション
- 折り紙、小物づくり
- 脳トレ
- 介護予防体操　　など

参加対象者
南相馬市内に居住する被災者と地域住民
（他の市町村からの避難者も含む）

参加者の年齢層
60代～80代

開催日時
毎月第２・第４水曜日
13：30～15：30

参加費
初回無料・２回目以降は100円

開催場所
原町区福祉会館　大会議室

周知方法
- 社協だより『オレンジハート』に掲載
- 生活支援相談員が訪問時に声がけ、チラシ配布
- 関係機関へチラシ配布

周知範囲
南相馬市内

運営協力者
- カリタス南相馬
- NPO法人はらまちクラブ

ある日のサロン

健康体操で体をすっかりほぐした後は、作品づくりにチャレンジ！
皆さんでひな人形を制作しました♪

1日のサロン活動の流れ

11：45 会場準備
〜
13：00 受付開始
〜
13：30 開会・挨拶
血圧測定
〜
14：00 レクリエーション開始
談話
〜
15：15 閉会

ポイント（工夫・注目点）
- 社協だより「オレンジハート」にサロン案内を掲載し、サロンの活動写真を載せたことで、サロンの様子が伝わり、地域住民の参加も増えました。

常に心がけていること
- 介護予防や認知症予防につながる内容で企画しています。
- 参加者同士が交流しやすい場づくりをしています。

サロンの今後について
地域住民の参加者が増えてきたので、今後は被災者の枠を外し、地域住民との交流の場にしていきたいです。

事例７ 南相馬市社会福祉協議会

上町団地deお茶会　笑顔になっ茶おう！

目的

- 他市町村の住民が入居する復興公営住宅入居者の交流
- 入居者の孤立防止
- 地域住民との交流
- 介護予防

サロンの概況

主な活動内容
- 茶話会
- 血圧測定
- 輪投げ
- 脳トレゲーム
- 軽体操、ラジオ体操
- 童謡を歌う　　など

参加対象者
- 復興公営住宅の住民
- 南相馬市に避難している方

参加者の年齢層
60代～80代

開催日時
2019年７月30日(火)
10：00～12：00

参加費
無料

開催場所
上町団地(復興公営住宅)集会所

周知方法
- 団地掲示板にポスターを掲示
- 戸別訪問でのチラシ配布
- 訪問時に声がけ

周知範囲
上町団地内

運営協力者
- 浪江町社協生活支援相談員
- 富岡町社協生活支援相談員
- 大熊町社協生活支援相談員
- 双葉町社協生活支援相談員
- 飯舘村社協生活支援相談員

その他
市内の他の復興公営住宅でも実施している

事例８ 南相馬市社会福祉協議会

にじいろ交流会

目的

- 同じ地域に避難している被災者同士の交流の場
- 地域の社会資源と住民(避難者)との関わりを広げる場
- 楽しく生きがいづくり

つどいの概況

主な活動内容
- ラジオ体操
- チーム対抗競技
- 昼食会(お弁当、豚汁)
- バンド演奏
- なりすまし詐欺被害防止(寸劇)

参加対象者
原町区内の仮設住宅、借上げ住宅、災害公営住宅、復興公営住宅、再建住宅、20km圏内(原町区)にお住まいの方

参加者の年齢層
60代～80代

開催日時・頻度
2019年10月４日(金)
10：00～13：30
年に１度開催

参加費
一人　300円

開催場所
原町区福祉会館　大会議室

周知方法
- 社協だより『オレンジハート』８月15日号に掲載
- 戸別訪問しチラシ配布
- 関係機関にチラシ配布

周知範囲
南相馬市原町区内

運営協力者
- NPO法人はらまちクラブ
- カリタス南相馬
- 原町赤十字奉仕団
- 南相馬警察署
- 浪江町社協生活支援相談員

事例９ 南相馬市社会福祉協議会

男のつどい

目的

- 集う機会が少ない男性同士の親睦と交流の場の提供
- 孤立防止
- 生きがいづくり
- 社会参加

つどいの概況

主な活動内容
- 室内ペタンク大会
- 昼食(お弁当、豚汁)
- 将棋・オセロ・囲碁対戦

参加対象者
南相馬市内に居住している男性の被災者(奥様同伴可)

参加者の年齢層
60代～80代

開催日時
2019年11月15日(金)
10：00～14：00

参加費
一人　300円　　参加者30名

開催場所
南相馬市小高保健福祉センター

周知方法
- 社協だより「オレンジハート」10月15日号に掲載
- 民生委員児童委員定例会で周知
- 戸別訪問しチラシ配布
- 各関係機関にチラシ配布

周知範囲
南相馬市内

運営協力者
- 小高保健センター(保健師)
- カリタス南相馬
- 小高赤十字奉仕団

男のつどい　第８回の様子

30名の参加者がチーム同士で作戦を練り、一球一球に声援が響いたペタンク大会でした！豚汁でお腹も心も満たした後は、囲碁や将棋を楽しみました♪

1日のつどいの流れ

10：00 開会・挨拶
↓
10：05 保健センターによる健康講話「冬に備えての生活習慣について」
↓
10：30 ペタンク大会(団体・個人戦)
↓
11：30 昼食(おむすび・豚汁など)
将棋・オセロ・囲碁対戦
↓
12：45 ペタンク大会(午前中の続き)
↓
13：45 記念写真
↓
13：55 閉会

ポイント(工夫・注目点)

- 今回は体を動かすことをメインとし、参加者が初めて行うスポーツ・ペタンクを企画しました。(公平さを出すために)
- 下肢に障害があり、小高区内に居住されている方のみ送迎可。
- 昼休みを利用して、参加者が希望する囲碁や将棋を準備。
- 昼食の調理は地元の赤十字奉仕団の協力を得ました。

常に心がけていること
- 男性参加者が気軽に参加できる内容を考えています。
- 参加者がお客様にならないように、希望を取り入れています。

サロンの今後について
「男のサロン」が定着し、住民主体で役割を見出す仕掛けづくりをしていきたいと考えています。

事例10 富岡町社会福祉協議会（いわき地区）

ちょこっとカフェ

目的

- 住民同士の交流を図る
- 町民及び地域住民との交流促進

サロンの概況

主な活動内容
- ものづくり
- レクリエーション
- 味の素ファンデーション料理教室

参加対象者
どなたでも参加可

参加者の年齢層
主に60代～80代
40代の方が親子で参加することもあります

開催日時・頻度
10：00～11：30
料理教室の時は10：30～13：30
月に２回開催

参加費
ものづくりの時のみ材料費を徴収

開催場所
- 富岡町いわき地区多目的集会施設
- いわき市内の公民館や集会所
- いわき市内の復興公営住宅の集会所　など

周知方法
- 生活支援相談員が訪問時にチラシを配布
- 富岡町広報誌にサロンの予定を掲載した社協だより（笑～る）を折り込んでいる

運営協力者
- 富岡町民生委員児童委員
- 味の素ファンデーション
- NPO法人 東北の造形作家を支援する会
- 日赤奉仕団の平支部・小名浜支部の職員

ある日のサロン ～スカットボールでスカッと☆～

スカットボールを使った紅白戦と個人戦を行いました！高得点が入ると大歓声が！皆さん一体になって楽しむことができました!!

1日のサロン活動の流れ

10：00 開会

スカットボールの説明

紅白戦
個人戦

茶話会

11：30 終了

ポイント（工夫・注目点）
- 年齢問わず楽しめるレクリエーションを活用しています。
- いわき市を北部と南部に分け、２カ所で開催しています。

常に心がけていること
- 参加者同士で交流できるように、茶話会を取り入れるようにしています。（1時間：ものづくりやレクリエーション／30分は茶話会）
- 夫婦での参加を促し、男性参加者を募っています。

サロンの効果
- 住民間の声がけで、新規メンバーの参加につながっています。
- レクリエーションで、参加者の体力づくり・健康促進・ストレス解消につながっていると感じます。

事例11 富岡町社会福祉協議会（郡山地区）

出前カフェ　はま風

目的

- 孤立防止
- 交流や仲間づくりの推進
- 仲間同士での自主的な活動につながる機会の提供

サロンの概況

主な活動内容
- 健康講話
- ものづくり
- 調理実習
- レクリエーション

参加対象者
富岡町から避難されている方

参加者の年齢層
50代～70代（60代が中心）

開催地区・頻度
２ヵ月に１回
- 郡山市を東西南北に分け、各地区で開催
- 白河地区

参加費
有（活動内容によって）

開催場所
- 北：富田団地集会所
- 東：芳賀公民館
- 西：大槻ふれあいセンター
- 南：安積学習センター
- 白河：西郷村文化センター

周知方法
- 生活支援相談員が訪問時にチラシを配布
- 富岡町広報誌にサロンの予定を掲載した社協だより（笑～る）を折り込んでいる

運営協力者
- 富岡町保健師
- しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福島
- 味の素ファンデーション
- 富岡町民生委員児童委員

その他
地区合同でイベントを開催
10月はバーベキューを行った

ある日のサロン ～みんなで楽しく小物づくり♪～

皆さんが楽しみにしている小物づくりの回です♪
ものづくりを趣味とされている方の参加が多く、老若男女問わずたくさんの方が参加しています。

1日のサロン活動の流れ

10：00 開催挨拶 担当職員紹介
10：10 ものづくり【鈴なり小箱】
11：00 茶話会
11：30 富岡町の情報発信・次回の出前カフェ案内
11：40 閉会

ポイント（工夫・注目点）

- 町民の声から、ものづくりをサロンに取り入れました。
- タブレットで町民情報を確認しながら、見守り活動をしています。
- 終了後スタッフミーティングを行い、振り返りをしています。

常に心がけていること
- 参加者が“楽しい”“また来たい”と思えるサロンを意識しています。
- 私たち生活支援相談員も楽しみながら運営に関わっています。

サロンの今後について
サロンを通して、地域住民と交流をしたり、地域に出るきっかけになってほしいです。また、地域のボランティアの方との交流を通じて、地域住民とのつながりができると良いと思います。

事例12 大熊町社会福祉協議会（相双地区）

つながっぺ南相馬サロン

目的

- 避難先地域での大熊町民同士の交流の場を提供
- 孤立感や孤独感の解消、外出のきっかけと閉じこもり防止を図る
- 地域で生活しやすくなるよう地域につながるきっかけづくり

サロンの概況

主な活動内容
- ものづくり（クリスマスツリーづくり、おおちゃん小法師づくり）
- 健康講座／運動教室（認知症予防・介護予防、頭の体操など）

参加対象者
相双地区に避難する大熊町民

参加者の年齢層
60代～80代

開催頻度
２ヵ月に１回

参加費
100円～500円

開催場所
- 大熊町社会福祉協議会相馬事業所（南相馬市）
- 南相馬市社会福祉協議会 中会議室

周知方法
- 生活支援相談員による訪問時のチラシ配布と声がけ
- 広報誌『なごみ』に掲載
- 大熊町タブレット端末で発信

運営協力者
- 健康運動指導士
- 介護予防指導士
- ボランティア

その他
年１回大熊町民を対象として、避難先の居住地域を越えた合同交流会「つながっぺおおくま！合同日帰り交流会」を開催

ある日のサロン ～クリスマスツリーで１年を締めくくりましょう！～

生のもみの木の枝を使って、オリジナルのクリスマスツリーを作りました。講師の話に耳を傾けながら、皆さん真剣に取り組まれ、素敵なツリーができ上がりました！

1日のサロン活動の流れ

9：45 受付開始
↓
10：00 開会、講師紹介
↓
10：05 制作方法説明
↓
10：10 制作開始
↓
11：00 完成、茶話会、集合写真撮影
↓
11：30 終了

ポイント（工夫・注目点）

- 大熊町民の方に講師を依頼しました。
- リアルタイムで大熊町民に配付されているタブレット端末に投稿しています。

常に心がけていること
- 地域へつながるきっかけづくりとして、地域資源をフル活用しています。
- 参加者同士が楽しく和やかに交流できるよう会話のサポートをしています。
- 毎回手作りチラシを作成！見やすく目を引くデザインにしています。

サロンの今後について
相双地区は地域資源が限られますが、どのような状況でも工夫次第で地域資源を最大限に活かしたサロン開催が可能です。相互に協力し合いながら開催していきたいです。

事例13 大熊町社会福祉協議会（郡山地区）

なかどおりサロンin希望ヶ丘

目的

- 避難先における大熊町民の交流と自立促進の場を提供
- 大熊町民と地域住民との橋渡しとなり、地域交流の土台をつくる
- 参加対象年齢を幅広くし、世代間交流の機会を提供

サロンの概況

主な活動内容

- ワークショップ（コーヒー教室）
- レクリエーション（漫談、お花見会、ニュースポーツ）
- ものづくり（陶芸、パウダーアート、リースづくり、寄せ植え）
- お祭り（縁日、体力測定／健康相談）
- ママサロン（親子遊び教室、健康講話）

参加対象者

大熊町民（他市町村民も参加可）

参加者の年齢層

10歳以下、30代、50代、
60代～90代

開催日時・頻度

木曜日
10：00～11：45
月１回

参加費

無料～500円

開催場所

大熊町役場中通り連絡事務所
（郡山市）

周知方法

- 生活支援相談員による訪問時のチラシ配布と声がけ
- 広報誌『なごみ』に掲載
- 大熊町タブレット端末で発信

周知範囲

中通りに避難する大熊町民

運営協力者

- 大熊町役場中通り連絡事務所
- 郡山市社協生活支援相談員
- 大玉村社協生活支援相談員
- 本宮市社協生活支援相談員
- ふくしま心のケアセンター

その他

年２回開催のママサロンでは大熊町民以外の参加や、ママ世代以外の高齢者の参加もあり、地域交流や世代間交流の場となっている

ある日のサロン

新しい年になり、皆さんで新年会を行いました!! 町民の皆さんの持ち込み企画も大成功✧終始大笑いの時間でした。

1日のサロン活動の流れ

9：30 受付
↓
10：00 開会
町民による書き初め、新年の抱負、日本舞踊、剣舞、詩吟
↓
10：20 レクリエーション
かるた取り・福笑い・けん玉一発勝負で初笑いなど
↓
11：00 休憩
おしるこ提供
生活支援相談員による余興あり♪
↓
11：30 次回サロン案内
↓
11：45 閉会

ポイント（工夫・注目点）

- 参加者の持込企画を取り入れ、活躍の場をつくります。
- 参加しやすいタイトルをつけ、参加のハードルを下げます。
- はじめて参加する人が孤立しない声かけを心がけます。

常に心がけていること

- 参加者が楽しく過ごせるよう、まずは自分が楽しみます！
- 自主性を尊重し、自立を促すサポートを行います。
- 型にはまらず飽きのこない内容にします。

サロンの今後について

月１開催は継続しつつ、交流の場の提供はもちろん、地域支援を目的とした他社協や関係機関との連携を強化し、視野を広げたサロン運営をしていきたいです。

事例14 双葉町社会福祉協議会（いわき地区）

社協サロン（愛称：ひだまりサロン）

目的

- 避難先での双葉町民同士の交流の場
- 町民間でのさまざまな情報交換の場
- 健康や介護予防への啓発活動

サロンの概況

主な活動内容
- 健康講話
- 体操
- レクリエーション（脳トレ、ゲーム、制作 など）

参加対象者
双葉町民

参加者の年齢層
60代～90代

開催日時・頻度
10：30～14：30
いわき市内３カ所の会場を３ヵ月に１回ずつ実施（各３回）

参加費
500円（弁当代）

開催場所
- いわき市小名浜公民館
- 富岡町役場いわき支所
- 双葉町サポートセンターひだまり

※いわき市、郡山市、南相馬市、白河市、福島市の５カ所で開催

周知方法
- 双葉町の広報誌に掲載（いわき市内のみチラシを同封）
- 双葉町が町民に配布しているタブレット端末に情報掲載
- 生活支援相談員が訪問時に声がけ
- 社協ホームページに掲載

周知範囲
双葉町の全町民

運営協力者
- 双葉町の保健師
- 双葉町民生委員児童委員

ある日のサロン ～みんなが集う笑顔の時間～

午前中は薬剤師による講話があり、お昼を挟んで午後は風船バレーで体を動かしました！チーム対抗で行い、皆さん負けじと白熱した戦いを繰り広げていました!!

1日のサロン活動の流れ

10：00 受付
バイタルチェック
〜
10：30 開始
健康講話
口腔体操
〜
12：00 昼食
〜
13：00 体操
〜
13：15 レクリエーション
〜
14：15 コーヒータイム
〜
14：30 終了

ポイント（工夫・注目点）

- 夫婦で参加する方が多いため、男性参加率が高いです。（小名浜公民館）
- １日の中で体を動かす時間、ゆっくり過ごせる時間をつくっています。話をする時間を皆さん楽しみにしています。

常に心がけていること
- 楽しんでもらうためアンケートなどで参加者の声を取り入れています。
- 訪問時に気づいたことなど参加者個々人の注意点を事前に打ち合わせしています。

サロンの今後について
避難先の地域に馴染めるよう支援し、サロンは地元を懐かしんでもらう場所になってほしいです。

事例15 双葉町社会福祉協議会（郡山地区）

健康運動教室

目的

- 日常生活における運動機能の維持
- 生き生きとした生活を送るための生きがいづくり
- 認知症予防

健康運動教室の概況

主な活動内容
- 日常生活を維持するための筋力の低下を防ぐ運動
- 認知症予防のゲーム、言葉遊び

参加対象者
双葉町民

参加者の年齢層
60代～90代

開催日時
毎週木曜日（祝日を除く）
13：30～15：00

参加費
無料

開催場所
南東北総合卸センター

周知方法
- 双葉町の広報誌に掲載
- 生活支援相談員が訪問時に声がけ
- 社協ホームページに掲載

周知範囲
双葉町の全町民

運営協力者
- 理学療法士
- 双葉町の保健師

その他
社協サロンを地域の公民館で3ヵ月に1回開催

ある日の健康運動教室 ～みんなで元気に健康体操♪～

双葉町からの委託事業による健康運動教室です。年配の参加者が多いので、無理のないよう座ってできるストレッチや、線の上を歩く訓練を行いました。

1日の活動の流れ

13：00 受付
バイタルチェック
〜
13：30 健康体操
適宜休憩♪
〜
15：00 終了

ポイント（工夫・注目点）

- みんなで集まることで、参加者の生きがいづくりにつながっています。
- 欠席者がいると、気に掛ける姿も見られ、参加者同士の見守りにもつながっています。
- 参加者の中でも、若い世代の人は高齢者のことを気にかけたり、手伝ったりしてくれています。参加者自身が役割を持とうとしています。

常に心がけていること
- 運動が中心なので、ケガをしないよう注意しています。
- 運動を始める前に血圧を測定し、健康に対する注意喚起をしています。

健康運動教室の今後について
今後も集まる場所になってほしいです。それが生きがいづくりにつながると考えています。

事例16 双葉町社会福祉協議会（南相馬地区）

南相馬ひだまりサロン

目的

- 避難先での双葉町民同士の交流の場
- 孤立と引きこもり防止
- 週に１回、体を動かす機会にしてもらう

サロンの概況

主な活動内容
- レクリエーション（折り紙、塗り絵、脳トレ など）
- 体操
- 保健師などによる健康講話
- タブレット端末の講習

参加対象者
双葉町民

参加者の年齢層
60代～90代

開催日時
毎週水曜日（祝日を除く）
10：30～14：30

参加費
無料

開催場所
双葉町役場南相馬連絡所

周知方法
- 月間予定表を配布（サロン・訪問時）
- 生活支援相談員が訪問時に声がけ
- 社協ホームページに掲載

周知範囲
双葉町の全町民

運営協力者
- 双葉町民生委員児童委員
- 福島県相双保健福祉事務所（保健師 など）

その他
社協サロンを地域の公民館などで３ヵ月に１回開催

ある日のサロン ～お弁当を持って大集合！～

参加者の週1回の楽しみであるひだまりサロンでは、手作りのお弁当を持参する方も多いです♪漬物などを持ち寄り、皆さんそれぞれの家庭の味を楽しんでいます！

ある日のサロン活動の流れ

10：30 受付
バイタルチェック
↓
11：00 体操
健康講話
↓
12：00 昼食
↓
13：00 レクリエーション
↓
14：00 茶話会
↓
14：30 終了

ポイント（工夫・注目点）
- 各自お弁当を持参して参加しています。
- 参加者の「やりたいこと」を取り入れています。
- 相双保健福祉事務所で健康講話、ふたばアプリ運営サポートセンターでタブレット講習会を月に１回実施しています。

常に心がけていること
- 参加者が楽しく過ごせる場にしたいです。
- サロンの企画に参加者の声とアイディアを取り入れています。

サロンの今後について
運転ができない方にも、公共交通機関を利用するなどして、少しでも多くの方がサロンに来てくれるようになって欲しいです。

事例17 葛尾村社会福祉協議会

茶話会

目的

- 住民同士のつながりの場所づくり
- 避難者同士の交流の場の提供、団地住民の孤立防止
- 高齢者の健康維持活動の場

サロンの概況

主な活動内容

- 自宅でもできる、一人でもできる体操や軽運動
- ものづくりやゲーム
- 参加住民は各自おにぎりを持参し、COOPふくしまが汁物を提供し昼食を参加者全員で摂る

参加対象者

葛尾村民

参加者の年齢層

主に70代～90代
平均年齢は80代程度
60代は若干名

開催日時・頻度

第３金曜日
10：00～12：00
月１回

参加費

ものづくりの時は材料費を徴収

開催場所

三春町 恵下越団地集会所
※葛尾村社協と多くの葛尾村民が三春町へ避難

周知方法

- 復興公営住宅／月初めに全戸訪問してサロンのチラシを配布
- 社協だよりにサロンの情報を掲載
- 集会所には村の職員が常駐。社協サロンへの参加を声がけしている

運営協力者

- COOPふくしま
- NPO法人　しんせい
- 葛尾村地域包括支援センター職員
- 三春町社協生活支援相談員

その他

- この集会所は月～金曜日開放している。手芸や体操などの活動やお茶飲みなどに集う人も多い

ある日のサロン ～おにぎりサロンです♪～

いつもワイワイ楽しく活動しています♪
体を動かす事を中心に、ゲームにもひと手間加えています！
皆さんの笑いが絶えません!!

1日のサロン活動の流れ

9：30 ゲーム準備
集まった人から、準備も手伝ってもらいます♪
～
10：00 開会
COOPさんの挨拶

10：05 ラジオ体操
軽体操
レクリエーションゲーム
（適宜休憩を入れる）
～
11：15 昼食
～
12：00 閉会
NPO法人しんせいさんの挨拶

ポイント（工夫・注目点）

- みんなでお昼を食べます♪
- 手作りの漬物などを持ち寄って、各家庭の味を楽しんでいます。

常に心がけていること

参加者を「お客様」にするのではなく、設営や準備、お茶入れや片づけなど、住民自身でできることは進んで取り組んでいけるようなサロン運営をしています。

サロンの効果

坂の多い団地ですが、社協で送迎は行わず、歩いて（シルバーカーなどを利用）参加することで住民の健康維持・健康促進につながっています。

事例18 新地町社会福祉協議会

行茶(ぎょうちゃ)

目的

- 避難者のコミュニティづくり
- 避難者と地域住民(災害公営住宅の周辺住民)との交流

サロンの概況

主な活動内容

- 茶話会
- におい袋づくり
- ビーズと天然石のブレスレットづくり
- 紙芝居
- 支援機関による鍼灸施術

参加対象者

- 災害公営住宅入居者
- 新地町に避難している方
- 地域住民

参加者の年齢層

60代～90代

開催日時・頻度

10：00～12：00
不定期

参加費

無料

開催場所

新地町被災高齢者住宅(災害公営住宅)の集会所

周知方法

- 地元の自治会長が広報誌などと共にチラシを全戸配布
- 生活支援相談員が訪問活動の時に声がけ

主催者

全国曹洞宗青年会
曹洞宗総合研究センター

運営協力者

- 新地町社協
  生活支援相談員
  生活支援コーディネーター
- 地元の自治会
- 地元の老人会

ある日のサロン ～曹洞宗青年会による行茶活動～

高齢者の参加が多いこのサロンでは、行茶活動という傾聴活動の他に鍼灸や指圧のコーナーもあり、皆さん各々の時間を過ごすことができました。

1日のサロン活動の流れ

9：40 参加者の出迎え 名簿に記名してもらう
〜
10：00 行茶(茶話会) または ものづくり 希望者は施術
〜
12：00 終了

ポイント(工夫・注目点)

- 生活支援コーディネーターの協力もあり地域の社会資源との関わりが密になります。
- 被災高齢者住宅の集会所で行うので、入居者が徒歩で気軽に参加できます。

常に心がけていること

- さり気ない会話で被災者と地域住民とのパイプ役になります。
- 普段の訪問だけでは得られない支援対象者の情報に注意します。

事例19 飯舘村社会福祉協議会

お茶のみ会

目的

- 避難先での引きこもり防止
- 村民同士のふれあいや交流を深めるコミュニケーションの場づくり

サロンの概況

主な活動内容

- 血圧測定
- 園芸寄せ植え、万華鏡づくり、緊急連絡先カードづくりなど
- 体操、嚥下障害防止体操
- 集合写真撮影

参加対象者

村外に避難している飯舘村民
(県内３カ所で開催)
①相双方部／相馬市、新地町、南相馬市に避難
②福島方部／福島市近郊に避難
③川俣方部／川俣町・福島市飯野町に避難

参加者の年齢層

60代～80代
男性参加者は２割ほど

開催日時・頻度

10：00～11：30
３ヵ月に１回
開催地域
①相双方部
②福島方部
③川俣方部
※避難している村民が多いため３つの地域で不定期で開催

参加費

100円

開催場所

①相双方部／原町区福祉センター
②福島方部／杉妻学習センター
③川俣方部／川俣町老人福祉センター

周知方法

- 飯舘村が発行している広報紙に情報を掲載
- 生活支援相談員が訪問時に声がけ
- チラシをポスティング

運営協力者

- 飯舘村保健師
- ふくしま心のケアセンター
- 東京電力職員
- 飯舘村民生・児童委員

その他

村内のサポートセンターで毎日サロンを開催

ある日のサロン

福島方部で行われたお茶のみ会では、万華鏡づくりを行い、
世界に1つしかないオリジナルができ上がりました!!

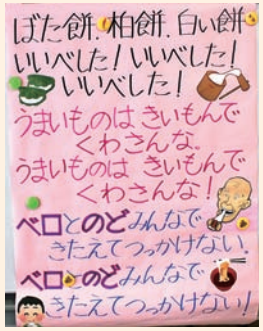
1日のサロン活動の流れ

9：30 受付開始
↓
10：00 レクリエーション
↓
11：00 集合写真撮影
嚥下障害防止体操
フリータイム
↓
11：30 閉会

ポイント（工夫・注目点）

- 嚥下障害防止体操は飯舘村の方言を用いたオリジナル早口体操を実施。
- 専門職によるバイタルチェックが受けられます。

飯舘村社協▶オリジナル「嚥下防止体操の歌詞」



友人の顔を見て話をして、ゲームや歌でストレスを解消して元気になって、また来て欲しいです。

常に心がけていること

- 地域に馴染めず寂しい思いをしている方が多いので、癒しの時間を提供します。
- 参加者が周りとの会話を楽しみ、季節を感じることができる企画を考えています。

サロンの今後について

- 避難先地域に馴染めるよう、徐々に地域のサロンなどの情報を提供していきます。
- ふるさとに戻る機会として、村で実施しているサロンの案内もしていきたいです。

事例20 いわき市社会福祉協議会

健康体操＆お茶会

目的

- 団地住民と地域住民との交流の場づくり
- 参加住民の健康促進

サロンの概況

主な活動内容
- シルバーリハビリ体操
- 健康ヨガ
- お茶会

参加対象者
団地住民及び、永崎地区・近隣住民の方

参加者の年齢層
60代～80代後半

開催日時・頻度
第３金曜日
10：00～12：00
月１回

参加費
無料

開催場所
いわき市　災害公営住宅
永崎団地集会所

周知方法・範囲
永崎団地の１ヵ月の予定をカレンダーにした「浜風だより」を配布
災害公営住宅：四倉南団地、久之浜東団地、内郷砂子田団地、永崎団地、作町東団地、薄磯団地、豊間団地にも配布

運営協力者
- いわき市　健康促進課
- ボランティア団体　笑楽美（ワラビ）

ある日のサロン

体操の先生と一緒に、腹から精いっぱい声を出し、体を動かした後は参加者みんなでお茶会♪
ご近所同士だから話も弾みます。

1日のサロン活動の流れ

10：00　開会
　　体操開始
　〜
11：00　お茶会
　〜
12：00　終了

ポイント（工夫・注目点）
- サロンに参加している住民間で、自然な見守り体制が構築されています。

医療創生大学（いわき市）
明星大学（東京都日野市）
東北大学（仙台市）

３校合同ボランティア「心の寄り添い交流会」を年に２回（３月／８月）開催しています。

常に心がけていること
- 誰でも参加できるようなオープンな雰囲気づくり。
- みんなで一体感をもってコミュニケーションを図れる場にしています。

自治会との関わり
- 団地住民の要望から立ち上がったサロンです。
- 社協はイベントや事業などの情報を自治会へ提供しています。

生活支援相談員の笑顔が みんなを笑顔に

ふるさとに帰還した住民同士をつなぐサロン

サロン活動事例集

事例１ 川俣町社会福祉協議会

田代地区サロン　すずらん

目的

- 帰還した方の中には、隣近所と話す機会が少なくなった方も多いので、集まることができる場をつくるため
- 体力の衰えも心配されることから、出かけるためのきっかけをつくりたい

サロンの概況

主な活動内容
- 昼食支援
- 茶話会
- 健康チェック

参加対象者
- 田代地区の住民
- 田代地区出身の住民
- 田代地区の近隣に住む方

参加者の年齢層
70代～80代

開催日時
毎月第１月曜日
11：00～14：00

参加費
無料

開催場所
川俣町 田代集会所

周知方法
- 訪問時の声がけ
- サロン開催時に呼びかける
- 広報紙「はやぶさ」に掲載

運営協力者
- AAR　JAPAN
- 浄土真宗本願寺　空知南組

その他
お出かけサロン

ある日のサロン ～地区の友人同士楽しく集います♪～

山あいの帰還地域で立ち上がったサロンです。
高齢者の一人暮らしが多いこの地域では、地域の支え合いによって昼食支援が行われています。

1日のサロン活動の流れ

11：00 健康チェック
　　昼食調理
　　〜
11：30 昼食
　　〜
12：30 茶話会
　　〜
14：00 終了

昼食の調理や準備は地域の若奥様方と関係団体が行います。

ポイント（工夫・注目点）

- 高齢の一人暮らしでは、調理をしないようなメニューを提供します。
- 昔からの互助のつながりが復活してきています。

常に心がけていること
- 高齢の参加者が多い中で、準備や片付けなど各々ができる範囲で協力し合えるような声がけをしています。
- お互いに助け合う気持ちを持てるようにしています。

立ち上げたきっかけ
訪問した時、玄関先でポツンと一人で寂しそうにしている方を見て、隣近所で集まることができる場や、外出するきっかけになるようなサロンがあれば良いと考えました。

事例２ 広野町社会福祉協議会

ふるさとサロンひろの

目的

- 地域住民のお祭りや地域活動などへの参加を促すきっかけづくり
- 健康悪化による孤立防止のための健康づくり
- 町民同士のコミュニケーションを促進

サロンの概況

主な活動内容
- 栄養士による健康講話
- 収穫した野菜での調理
- 会食
- 野菜づくり

参加対象者
- 広野町民、広野町内での自宅再建者

※毎年４月に募集、登録制
※年度途中からの登録も可能

参加者の年齢層
60代～90代

開催日時
毎月第３土曜日
10：00～11：45

参加費
無料～1,000円

開催場所
広野町老人福祉センター

周知方法
65歳以上の支援対象者に訪問時に声がけ

運営協力者
管理栄養士　山田千恵美先生

その他
老人クラブ主催の町民交流会「地区のつどい」を月１回開催している。広野町民以外の方も参加可能

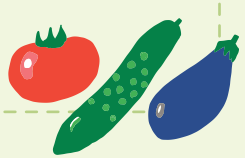
５月の畑サロンの様子

ある日のサロン ～みんなで作った野菜で楽しく調理♪～

５月の畑サロンの時に参加者から「収穫した野菜で何作る？」との一言から、調理実習を企画しました！家庭菜園をしている方が多い中、友人同士で作った野菜はまた格別だったようです。

1日のサロン活動の流れ

9：00　準備
〜
10：00　開会
段取り説明
〜
10：10　調理スタート
〜
11：10　試食
食材の健康効果説明
〜　（栄養士）
11：45　閉会



ポイント（工夫・注目点）

- 参加者の声から生まれた企画です。
- 自然な役割分担のもと、参加者同士協力して活動していました。

常に心がけていること
- 高齢の方が多いのでケガがないよう配慮しています。
- みんなが楽しく過ごせるよう、声がけを行っています。
- 社協全体でサロン活動に取り組み、協力体制をつくっています。

サロンの今後について
サロンに参加されていない・参加できない方への関わりに重点をおいて、町民が孤立しないように支援を継続していきたいです。

事例３ 楢葉町社会福祉協議会

地域交流サロン　ふらっと

目的

高齢者の通いの場が少ないことや、交通手段を持たない高齢者などは孤立しやすいため、地域交流サロンを開催している

サロンの概況

主な活動内容
- 調理
- レクリエーション
- 健康体操

参加対象者
- 楢葉町で生活をされている高齢者の方
- 身の回りのことを自分でできる高齢者の方

参加者の年齢層
70代～90代（最年長は95歳）

開催日時・頻度
火曜・木曜・金曜
10：00～14：00
週３回

参加費
昼食の材料費300円

開催場所
あおぞらこども園内「ふらっと」
※令和２年３月24日～
楢葉町保健福祉会館へ移転

周知方法
- サロン参加が必要と思われる住民に、包括職員からお声がけ
- 生活支援相談員が訪問時に声がけ
- 参加者からの紹介

運営協力者
ふくしま心のケアセンター

ある日のサロン

楢葉町地域包括支援センターを申込み窓口にしているこのサロンは、町と社協が共同で高齢者の見守りを行っています。参加者が調理から片づけを担い、高齢者の生きがいにつながっています！

1日のサロン活動の流れ

10：00 調理班とレクリエーション班に分かれて活動開始！
〜
11：40 配膳終了 昼食タイム♪
〜
12：45 レクリエーション班が片づけを行います

13：00 【参加者全員で】健康体操
〜 レクリエーション

14：00 終了

ポイント（工夫・注目点）
- 参加者に役割を持たせ、その人が輝ける場を意識しています。
- 野菜の切り方や味付けなどはお任せし、自由に調理してもらいます。

常に心がけていること
- 住民からの食材の差し入れは、必ずその日の食卓にのせます。
- 栄養バランスや彩りを工夫し、季節感を取り入れています。

生活支援相談員の声
- 初めてのこと、できないと思っていた事にもまずはチャレンジ!!
- 「新しい発見・驚き・感激」を提供していきたいです。

事例４ 富岡町社会福祉協議会（富岡地区）

ゆうゆう倶楽部

目的

- 帰町した町民同士の相互交流の場の確保
- 町民同士の緩やかなコミュニティの構築
- 高齢者が社会参加できるきっかけを提供

サロンの概況

主な活動内容

- ものづくり
- 料理教室
- リラクゼーション／健康講話

参加対象者

- 富岡町民及び帰町者
- 近隣市町村に避難されている町民の方々
  希望者は誰でも参加可能

参加者の年齢層

- 平均60代～80代
  20代で乳幼児を連れての参加
  90代の方の参加もあり

開催日時・頻度

毎週金曜日
10：00～12：00
月に４回～５回

参加費

通常は無料
※内容によっては発生することもあります

開催場所

町内災害公営住宅
・第１週：曲田第１団地
・第２週：曲田第２団地
・第３週：栄町団地
・第４週：総合福祉センター
・第５週：その他

周知方法

- 生活支援相談員が訪問時にチラシを配布
- 富岡町広報誌にサロンの予定を掲載した社協だより（笑～る）を折り込んでいる
- 図書館やサポートセンターもとまちなどにチラシを設置・ポスター掲示

運営協力者

- ふくしま心のケアセンター
- 味の素ファンデーション
- 味の素AGF
- しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福島
- 放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター
- NPO法人 東北の造形作家を支援する会

ある日のサロン ～水道水の安全性に関する見学ツアー～

特定廃棄物埋め立て情報館『リプルンふくしま』と双葉水道企業団小山浄水場の見学をし、水道水の安全性を再確認しました！楢葉町のしおかぜ荘にて昼食を取り、海の見える絶景のロケーションで心癒されました。

1日のサロン活動の流れ

9：00 集合
↓
バス移動
↓
9：20 リプルンふくしま見学
↓
10：20 小山浄水場見学
↓
木戸ダム見学
↓
12：20 しおかぜ荘にて昼食
買い物
↓
笑みふるタウンならは
↓
14：30 バス移動
解散

ポイント（工夫・注目点）

- サロン活動の中にバス旅行も取り入れています。
- 参加者同士の自主的な行動を見守ります。

常に心がけていること

- 必ず茶話会を行い、住民同士の交流促進を図っています。
- 健康の面から「食に関すること」や介護予防から「手先を使う作業」など、住民のニーズに合わせて活動しています。

生活支援相談員から

- 移動手段のない方や近隣住民が参加しやすいように、開催場所を数カ所設けています。
- 移動手段がない高齢者が多いため、希望者は社協の「送迎支援サービス事業」で送迎サービスが受けられます。

事例５ 川内村社会福祉協議会

ふれあい・いきいきサロン

目的

- 高齢者の外出の機会や健康維持活動、介護予防の場づくり
- 「気軽に」「無理なく」「楽しく」「自由に」過ごせる場づくり
- 地域の身近な方との交流や仲間づくり、楽しい話し合いの機会を持つ

サロンの概況

主な活動内容
- 健康体操
- 創作活動
- レクリエーション
- お茶飲み会
- お薬勉強会

参加対象者
川内村内の高齢者

参加者の年齢層
60代後半～80代

開催頻度
２ヵ月に１回開催

参加費
無料

開催場所
地区集会所
山村活性化支援センター
※村内７カ所で開催

周知方法
- 広報紙『かわうち』に掲載
- 老人クラブや民生委員児童委員の声がけ

運営協力者
- 川内村保健福祉課保健師
- 双葉地方広域市町村圏組合消防本部
- 近隣地域の薬剤師

その他
五社の杜サポートセンターで月1回の子育てサロンと週1回の交流サロンを開催。毎週火曜日に第1週から順にカラオケ、わなげ、カーリンコン、スカットボールを実施

ある日のサロン ～みんな笑顔で生き生きと～

参加者同士声をかけ合って積極的に活動に参加しています!!

1日のサロン活動の流れ

10：00 集合（集会所の開錠は参加者）
↓
10：10 川内村保健師による健康体操
社協職員による体と頭の体操
↓
10：30 レクリエーション
↓
11：00 茶話会
テーブルなどの準備はみんなで協力して行います♪
↓
11：30 終了

ポイント（工夫・注目点）

- 行政区ごとの小地域で開催。基本的に徒歩で参加できます。
- ご近所同士の近況報告や情報交換の場となっています。

常に心がけていること
- 参加者同士が和気あいあいと交流できるよう配慮しています。
- 参加者の笑顔が多くみられるサロン運営をしています。
- 参加者の自主性を第一に考え、さりげないサポートに努めるよう意識しています。

サロンの今後について
五社の杜サポートセンターで週１回開催のサロンも含め、家に閉じこもらず外出の機会をつくるのがサロンの意義。継続して開催していきたいです。

事例６ 浪江町社会福祉協議会（浪江地区）

浪江いきいき交流会

目的

- 浪江町に帰町した方及び南相馬市周辺に避難した町民の交流やつながりの場を提供
- 高齢者の外出の機会や健康維持活動、介護予防の場づくり

サロンの概況

主な活動内容
- バイタルチェック
- 健康相談
- レクリエーション（脳トレクイズ）
- 演奏会
- 健康増進ミニ運動会

参加対象者
浪江町民（他市町村民も参加可）

参加者の年齢層
60代～80代後半

開催頻度
月１回開催

開催地区
浪江町

参加費
無料

開催場所
浪江町地域スポーツセンター

周知方法
- 生活支援相談員が個別訪問時に年間予定表を配布
- 参加者のクチコミ

運営協力者
- 浪江町介護福祉課理学療法士
- 浪江町地域包括支援センター
- 相馬広域こころのケアセンターなごみ
- 浪江町社協生活支援コーディネーター

ある日のサロン

帰町された方や南相馬市周辺に避難した方を中心に総勢30名程度が常に集まるサロンです！27回目を迎えましたが、初回から皆勤賞の方も大勢います!!地元のコミュニティ再生に一役買っています♪

1日のサロン活動の流れ

9：30 準備
参加者が早く集まり会場準備を行う

10：00 バイタルチェック
健康相談

10：15 健康体操

10：30 各自の活動タイム♪
脳トレクイズや卓上ゲーム、レクリエーションゲームなど
もちろんトークもOK☆

11：30 終了
片づけは参加者で行う

ポイント（工夫・注目点）

- 参加者が自主的に活動内容を選択できる環境づくりに努めています。
- サロン活動の見守りの場とし、参加者の様子を伺い適宜声かけを行っています。

常に心がけていること
- 自分のやりたいことを選びながら、無理なくゆっくりとした時間を過ごすことができるよう見守りをしています。
- 一人ひとりが進んで活動に参加できるようサポートしています。

サロンの今後について
交流会は浪江町民のつながりの場。参加者の“自分たちでつくっていく”という意識をサポートできるよう、今後も工夫していきたいです。

避難者と
避難先の地域住民を
つなぐサロン

サロン活動
事例集

事例１ 本宮市社会福祉協議会

ふれあいバス遠足

目的

- 本宮市に避難している方同士の交流と親睦を深める場
- 年齢に関係なく安心して外出ができる場

イベントの概況

活動内容
バス遠足

参加対象者
本宮市に避難されている方々

参加者の年齢層
60代～80代
主に70代

開催頻度
年に１回

参加費
1,000円

行き先
宮城県内の観光地

周知方法
訪問時のチラシ配布

実施協力
浪江町社協生活支援相談員

毎回、参加者の皆さんは楽しい１日を過ごしています。

参加者の様子

毎年１回開催のバス遠足☆
毎回多くの方にご参加いただいています♪
３回目を迎えた今回は仙台方面へ出かけました！

バス遠足行程

7：30 集合・出発
↓
9：30 キリンビール工場見学
↓
11：35 昼食
↓
12：40 うみの杜水族館
↓
14：15 仙台場外市場　杜の市場
↓
17：00 到着・解散

ポイント（工夫・注目点）

- 外出する機会が少ない方でも、この旅行には参加している人が多いです。
- 楽しみにしている声が多いので、継続して開催しています。
- 無理のない行程にし、ゆっくり楽しく過ごせるようにしています。

常に心がけていること

- 参加者同士が楽しみながらリフレッシュしてほしいです。
- お互いの近況を語り合える場、気軽に集まれる場になってほしいです。
- 誰でも安心して参加できるようにしています。

今後について

避難されている方同士が集まれる場を大切にしていきます。また、社協主催の一人暮らし会食（70才以上）や地域サロンにも参加し、交流が増えていけば良いと思います。

事例２ 大玉村社会福祉協議会

おおたま社協　サロン

目的

- 大玉村に避難した方々同士の交流や情報交換の場の提供
- 孤立化、孤独化、ひきこもりの防止
- 地域住民との新たなコミュニティづくりの支援

サロンの概況

主な活動内容
- 季節に応じた行事
- ものづくり体験
- スポーツイベント
- バス旅行

参加対象者
大玉村に避難している方

参加者の年齢層
20代～90代

開催頻度
毎月１回

参加費
- 七夕会は100円
- 内容に応じて200円～3,000円

開催場所
- 大玉村福祉センターさくら
- 村内の公共施設など

周知方法
- 訪問時のチラシ配布
- ブログ

運営協力者
- 浪江町社協生活支援相談員
- 富岡町社協生活支援相談員
- 大熊町社協生活支援相談員
- NPO法人　みんぷく

その他
地域のふれあいサロン
（大玉村内　21カ所）

ある日のサロン ～七夕会 天の川に願いを～

こねこね作業が続く泥団子づくり☆子供の頃の遊びを思い出して、お餅づくりを思い出して、サラサラの砂から手塩に掛けて輝く団子を育てました。短冊にそれぞれの願い事を記入し、天の川に…

天井から吊り下げた緑のネットを天の川に見たて、短冊を飾りました。

1日のサロン活動の流れ

10：00 集合
参加受付
〜
開会

10：15 泥団子づくり
開始
〜

11：00 七夕の短冊に
願い事を記入
片付け
〜
茶話会
写真撮影

11：45 終了

ポイント（工夫・注目点）
- 童心に帰って集中できるような、簡単な作業をしながら、参加者同士の交流が促進される企画にしました。
- 季節感を感じながら楽しんでもらえるよう、掲示物の見せ方を工夫しました。
- 七夕会の開催のみ案内をし、活動内容は当日までヒミツにすることで、参加者の興味をひくようにしました。

常に心がけていること
- 参加を強制しません。
- 経験したことのないことを企画してサロンに参加するきっかけをつくっています。
- 男性も興味を持つことができるような企画を考えています。

サロンの今後について
- 年に数回でも集まることができる場があれば良いと思います。
- 地域のサロン・サークルに紹介して、つなげていきたいです。

令和2年度

福祉施設の事故・紛争円満解決のために

ホームページでも内容を紹介しています
http://www.fukushihoken.co.jp

社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

（賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、動産総合保険、費用・利益保険）

❶ 基本補償（賠償・見舞費用）

保険期間1年

▶保険金額

		基本補償（A型）	見舞費用付補償（B型）
賠償事故に対応	身体賠償（1名・1事故）	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償（1事故）	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償（期間中）	200万円	200万円
	うち現金支払限度額（期間中）	20万円	20万円
	人格権侵害（期間中）	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失（期間中）	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償（期間中）	2,000万円	2,000万円
お見舞い等の各種費用	事故対応特別費用（期間中）	500万円	500万円
	被害者対応費用（1名につき）	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶年額保険料（掛金）

	定員	基本補償（A型）
基本補償（A型）	1~50名	35,000~61,460円
	51~100名	68,270~97,000円
	以降1名~10名増ごと	1,500円
見舞費用付補償（B型）	基本補償（A型）保険料 ＋	【見舞費用加算】定員1名あたり 入所：1,300円 通所：1,390円

- ●オプション1 ●訪問・相談等サービス補償
- ●オプション2 ●医務室の医療事故補償 ●看護師の賠償責任補償
- ●オプション3 ●借用不動産賠償事故補償
- ●オプション4 ●クレーム対応サポート補償

❷ 個人情報漏えい対応補償　❸ 施設の什器・備品損害補償

プラン2 施設利用者の補償

（普通傷害保険）

❶ 入所型施設利用者の傷害事故補償

❷ 通所型施設利用者の傷害事故補償

❸ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償
施設送迎車に搭乗中のケガに対し、プラン2-❶、❷の傷害保険や自動車保険などとは関係なく補償

プラン3 施設職員の補償

（労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険）

❶ 施設職員の労災上乗せ補償
●オプション：使用者賠償責任補償

❷ 施設職員の傷害事故補償

❸ 施設職員の感染症罹患事故補償

❹ 雇用慣行賠償補償 NEW

プラン4 社会福祉法人役員等の補償

（役員賠償責任保険）

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

保険期間1年

▶保険金額	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ
1事故・期間中	5,000万円	1億円	3億円

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03(3349)5137
受付時間：平日の9:00~17:00（土日・祝日、12/31~1/3を除きます。）

損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
受付時間：平日の9:30~17:30（12/29~1/3を除きます。）

〈SJNK19-14129 2020.2.7作成〉

平成31年度 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

●後遺障害もフルカバーなので安心です!!

保険金額

保険金の種類＼プラン		Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	1,400万円
	後遺障害保険金	1,040万円（限度額）	1,400万円（限度額）
	入院保険金日額	6,500円	10,000円
	手術保険金 入院中の手術	65,000円	100,000円
	手術保険金 外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額（保険金額）に同じ	
	葬祭費用保険金（特定感染症）	300万円（限度額）	
賠償責任の補償	賠償責任保険金（対人・対物共通）	5億円（限度額）	

年間保険料（1名あたり）

タイプ＼プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	350円	510円
天災タイプ(※)（基本タイプ+地震・噴火・津波）	500円	710円

団体割引20%適用済／過去の損害率による割増引適用

（※）天災タイプでは、天災（地震、噴火または津波）に起因する被保険者自身のケガを補償します（天災危険担保特約条項）が、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な場合

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。（ケガの補償）
- 活動に向かう途中、交通事故にあって亡くなられた。（ケガの補償）
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になって入院した。（ケガの補償）
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花びんを落としてこわした。（賠償責任の補償）

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動のさまざまな行事におけるケガ、賠償（主催者責任）を補償!!

（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）

保険金額

A・B・Cプラン共通（A・B・Cプラン共に熱中症危険補償特約セット）

	保険金の種類		補償内容
ケガの補償	参加者本人のケガ	死亡保険金	400万円
		後遺障害保険金	400万円（限度額）
		入院保険金日額	3,500円
		手術保険金 入院中の手術	35,000円
		手術保険金 外来の手術	17,500円
		通院保険金日額	2,200円
賠償責任の補償	対人事故		1名・1事故2億円（限度額）
	対物事故		1事故1,000万円（限度額）

※賠償責任の補償の限度額は、補償の対象となるリスクの種類ごとに適用されます。

保険料（1名あたり）

団体割引15%適用済

※詳しい内容は、パンフレットをご覧ください。

A プラン（宿泊を伴わない行事）		
A1の行事	A2の行事	A3の行事
1日 28円（最低保険料 560円）	1日 126円（最低保険料 2,520円）	1日 248円（最低保険料 4,960円）

B プラン（宿泊を伴う行事）			
1泊2日（2日間）	241円	2泊3日（3日間）	295円

C プラン（A1区分で宿泊を伴わない、かつ参加者が事前に特定できない行事）
1日 28円（最低保険料 560円）

送迎サービス補償

（傷害保険）

◆送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償！

福祉サービス総合補償

（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

◆ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償！

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03(3349)5137
受付時間：平日の9:00~17:00（土日・祝日、12/31~1/3を除きます。）

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
営業時間：平日の9:30~17:30（12/29~1/3を除きます。）

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〈SJNK18-13567 2019.1.16作成〉